



鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『祈り求めるものは

すべて既に得られたと信じなさい。

そうすればそのとおりになる』

聖書(マルコ福音書 11 章 24 節)

牧師 河合裕志

これは祈りについて教えたもの。祈る時にはナマハンカな思いではなく確信をもって祈りなさいよ、ということ。この祈りは果して神に聞いてもらえるものかどうかわからないといった不徹底なものではいけませんよ、ということ。神は必ず聞き届けてくれると信じて祈りなさい。

この言葉のすぐ前ではイエスはこんなことも言っている。『だれでもこの山に向かい、「立ち上がって海に飛び込め」と言い、少しも疑わず、自分の言うとおりになると信じるならば、そのとおりになる』。

これはまたなんとオーバーな。なんと誇張した言いぐさ。あのどっかとした山がただの一言で海に移動するなどとてもじゃないけど信じられない、ありっこない。イエスは本気でそんなこと言ってるの？ 本気なんでしょう。「少しも疑わない」ならそうなるよと約束。しかし残念ながら私達はハナから疑ってかかっているの山は微動だにしない。ここでやはりイエスは祈る姿勢を教えているのだろう。山は動くと思て祈ることが大事だよ、と。

山はあのどっかとした山に違いないが合わせて大きな障害、困難ということ。行く手をはばむ障害物、これが山ということ。

それは私の病気、家族の病気、仕事、経済のこと、人間関係、死といったもの。誰にも大小の山はつきもの。こうした山は動く、解決する、突破口が開かれると信じて前向きに当って行くこと。その際神を信じて祈りつつ事に当れば大きな力となる。この神は何と言っても天地宇宙をつくった全能の父なる神なんだから。この神によりすがらば大きなパワーが与えられる。へこたれずに、あきらめずに祈り続けることが出来る、努力し続けることが可能。この方向で行けば必ず成果がもたらされる筈。

100%でなくても。まるっきり効果がなかったらどうする。信仰、祈り、努力が足りないということになるのか。それは足りないかもしれない。それで充分ということはない。

しかし時には聞かれない祈りのあることも覚えておこう。病気など全部がなおる訳ではない。あの聖パウロだってやっかいな病気に悩まされた。しかし彼はそこで自分の弱さを知らされ一層神の力によりすがらることを学んだ。またイエスというビッグプレゼントを与えられていることを気付かされた。この大きな贈りものは全部の人に既に与えられている。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

英語聖書を読む会：日曜日午前9時半

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時